


【AIRC Mail Magazine】

第531号(2025年11月4日発行)

***** (一財) 旭川産業創造プラザ *****

■Contents:

◇(一財)旭川産業創造プラザからのお知らせ◇

1. 旭川産業支援報告会の開催11月13日(木) 15:00-17:00
2. 「道北あさひかわBizCafe」11月は20日(木)の開催です。
3. 2025年人材育成助成事業 随時募集を開始しております。(12月29日締切)
4. 旭川食品産業支援センターから食品試験予定日のお知らせ
5. 旭川食品産業支援センター セミナーのご案内
6. 連載「HACCP導入、運用のコツ(89)」旭川食品産業支援センター長 浅野 行蔵
7. 道北ビジネスプランコンテスト2025エントリー受付開始！(10/14～11/14まで)

◇関係機関からのお知らせ◇

8. 令和7年林産試験場研究成果発表会 11月7日(金) 13:30～14:30
9. 生産性向上セミナー 11月12日(水) 13:30～16:30 札幌/オンライン開催
10. 北海道「食のブランドステップアップ相談会」を11月5日(水)開催します。
11. サービス業向け生産性向上ワークショップ 11月6日(木) 13:30～16:00
12. ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金(21次締切1月下旬)
13. 小規模事業者持続化補助金<一般型・通常枠第18回> 11月28日締切
14. 小規模事業者持続化補助金(創業型)第2回締切 11月28日
15. 中小企業省力化投資補助金(一般型)第4回公募 2025年11月27日(木)まで
16. 北海道中小企業総合支援センターの専門家派遣事業開始のご案内
17. 事業承継M&A補助金 13次 2025年11月28日(金)まで
18. AI活用セミナー 11月8日(土) 14:00～16:00
19. 輸出をもっと身近に！東・東南アジア輸出セミナー 11月6日(木) 15:00～16:30

★ AMMコラム ★

道北ビジネスプランコンテスト、エントリー絶賛受付中です。起業や新事業展開をお考えの方、お気軽に企業支援グループまでご相談ください。(YI)

1. 旭川産業支援報告会の開催11月13日(木) 15:00-17:00

旭川産業支援報告会2025を開催します

旭川の産業支援機関とともに、これまでの支援内容や研究開発等の状況の報告会を開催します。発表会終了後には、交流会も実施しますので、お誘い合わせのうえ御参加ください。

●旭川産業支援報告会2025

<https://www.arc-net.or.jp/14173/>

- ・日時 2025年11月13日(木) 15時～17時
- ・会場 旭川リサーチセンター内 スタジオ
(旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号)
- ・参加機関 旭川市経済部産業振興課
旭川市工業技術センター
旭川市工芸センター

旭川食品産業支援センター
公益財団法人北海道中小企業総合支援センター
一般財団法人旭川産業創造プラザ

●参加者交流会

- ・日時 2025年11月13日（木）17時30分～19時
- ・会場 旭川リサーチセンター内 交流サロン
- ・内容 大雪地ビール様によるケータリング
内容（予定）
飲物（アルコール類有・90分間飲み放題）・軽食
会費 1人 ￥3,500円（税込み）
※当日受付時に現金でお支払いください。

報告会及び交流会のお申込み

次のURL又は二次元コードから必要事項を御入力ください。

参加申込期日 2025年11月7日（金）

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdLqjoNk6fv-Um5AXEihFSPEjZQTt6Be2XcdZ9134G8EiWX2g/viewform>

2. 「道北あさひかわBizCafe」11月は20日の開催です。

起業に必要な知識やノウハウを学ぶ、創業セミナー「道北あさひかわBizCafe」を開催します。
現地開催＆WEB同時配信です！終了後には名刺交換会などのお時間も用意しています（現地のみ）。

■日時 2025年11月20日（木）18:30から

■セミナー

テーマ：経営に役立つコミュニケーション術（人材育成）

講師：（株）オフィスユー 代表取締役 林 ゆかり氏

■申込入力フォーム <https://www.arc-net.or.jp/formbizcafe/>

■WEB開催について

申込者が、ご自身のPCやスマートフォンで視聴 ※交流会、資料配布はございませんのでご了承ください。

■対象

・起業準備中の方、近い将来起業を考えている方、起業間もない方、起業に関心のある方、事業承継する予定の後継者の方、第2創業、新分野進出を検討中の方。

・年齢、性別、国籍、職業問わずどなたでも！（高校生、大学生も可）

■お問合せ先

一般財団法人 旭川産業創造プラザ

TEL 0166-73-9210

FAX 0166-68-2828

Email bizcafe@arc-net.or.jp

■2025年度のスケジュールはこちら↓

<https://www.arc-net.or.jp/variousupport/bizcafe/>

3. 2025年人材育成助成事業 随時募集を開始しております。（2025年12月29日締切）

技術者等の研修事業に対し、その経費を10万円上限、助成率1/2で助成します。
研修に参加する派遣研修事業、専門家の招聘による研修や指導を受ける自主研修事業があります。

フード塾や道総研ものづくり支援センターが行う短期実用化研修開発などでも活用が可能です。
予算の限り申請を随時受付、審査を行っていきます。研修参加の2か月前を目標に、
企業支援グループまでお問合せください。

<https://www.arc-net.or.jp/12973/>

4. 旭川食品産業支援センターから食品試験予定日のお知らせ

今月の食品試験予定日は11月10、17日（月）です。

<注意点>

- 1、当センターの試験は、自主試験を代行するものであり、公的証明を行うものではありません。
公的証明書をご希望の方は、旭川市保健所等の検査機関をご利用ください。
- 2、試験の受託範囲は、旭川市、鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町の1市8町に所在する食品事業者様が製造・販売する商品（加工食品）となります。
- 3、詳細は下記のHPをご覧ください。
<https://www.arc-net.or.jp/fosup/>
- 4、検査を希望される方は事前にご相談ください。

連絡先：旭川食品産業支援センター（旭川産業創造プラザ 内）

T E L : (0166) 68-2824 F A X : (0166) 68-2828

E-mail : fosup(※)arc-net.or.jp (※)を@に変えてください。

5. 旭川食品産業支援センター セミナーのご案内

食品添加物というと、『危険』『毒性』といったネガティブなイメージばかりが目につき、お客様からは敬遠されがちです。

といっても、日持ちを向上させて食品ロスを減らしたり、病原菌の増殖を抑制して安全性を高めたりと、その効果は絶大なもの。

上手にお使いの企業様も多いのではないのでしょうか。

今回は、食品添加物を使用した食品を販売する際に、不安を示されるお客様に安心して購入していただくために、どのようにアプローチしたらよいか、食品添加物のプロに聞きます！

<https://forms.gle/h5AANkbK3RBSYyoY7>

↑ Googleフォームよりお申込みが可能です。

■日時：2025年12月4日（木）15：00～17：00

■講師：一般社団法人 日本添加物協会 常務理事 川岸 昇一氏

■場所：旭川リサーチセンター2階 研修室
（旭川市緑が丘東1条3丁目1番3号）

■参加費：無料

■チラシ：

<https://www.arc-net.or.jp/fosup/wp/wp-content/uploads/2025/10/12月セミナーチラシ.pdf>

■セミナーのお申込・お問合せ先 旭川食品産業支援センター

お電話やメール、又はGoogleフォームよりお申し込みください。

E-mail : fosup(※)arc-net.or.jp (※)を@に変えてください。

電話番号：0166-68-2824

6. 連載「HACCP導入、運用のコツ(90)」旭川食品産業支援センター長 浅野 行蔵

アニサキスは、思っているより怖い

HACCPで最も大切なのがHA（危害分析）だ。アニサキスは重要なHazardだ。アニサキスが原因の食中毒は、年間500件近くと記録されている。

ところが、国立感染症研究所等グループの研究によると、年間2万人前後の人が、アニサキス症の症状を示していると発表している。

医療機関の診療情報の解析から分かった結果だ。アニサキスアレルギーとなった人も多くなっている。

アニサキスを防ぐには、60度以上の加熱、もしくはマイナス20度24時間以上の冷凍が必須である。

効果がないのは、酢漬け、塩漬け、醤油漬け、わさびなど香辛料、光などでの目視確認。そして

ほとんどの海洋生物にアニサキスが寄生していることも分かった。

刺身や寿司を食べるにも冷凍処理された履歴のある魚を食べることが必要だ。オランダでは、ニシンについて-20℃以下、24 時間以上の冷凍を義務付けた以降アニサキス症患者が激減したとのことだ。

7. 道北ビジネスプランコンテスト2025エントリー受付開始！(10/14~11/14まで)

旭川産業創造プラザでは、道北ビジネスプランコンテスト開催協議会

(構成市町村：旭川市、稚内市、名寄市、士別市、留萌市、富良野市、東神楽町、東川町、鷹栖町(以下「6市3町」と言います。))の事業委託を受けて、6市3町における創業と新産業の創出、企業の分野進出を促進し経済の活性化を図ることを目的とし、優れたビジネスプランと意欲的な事業展開を目指す方を支援するためのビジネスプランコンテストを実施します。

最優秀賞、優秀賞に選定された方には助成金(最優秀賞：40万円、優秀賞20万円)

が副賞として進呈されます。また、応募頂いた方(希望者)には

インキュベーションマネージャーを始めとするスタッフが創業に至るまでの継続的な支援を行います。

■応募資格

下記1~3のいずれかで、6市3町の市税・町税を滞納していない方が応募できます。

1. 6市3町において創業から2年以内、又はこの先2年以内に創業を予定している創業予定者およびそのグループ
2. 6市3町で事業を営んでおり新分野への進出を予定している企業等の法人その他団体
3. 6市3町で事業を営んでいる個人事業主

※ただし、宗教法人や政治活動を主たる目的とする法人およびその他団体、暴力団もしくは暴力団員の統制の下にある個人又は法人その他団体は除く。

■募集プラン

次のいずれにも該当するビジネスプランを募集します。

- ・事業の本拠地が6市3町にある、又は6市3町での事業展開が見込まれるものであること。
- ・事業により提供される商品・サービスに新規性、独創性および実現性が認められ、かつ、当該事業により相当の利益が期待できるものであること。
- ・支援する事業として、社会通念上、適切と認められるものであること。
- ・まだ事業化していない新商品や新サービスをもとに、2年以内に創業もしくは新事業展開を目指すもの(すでに事業化されたものは対象外です)。

■スケジュール

- ・2025年11月14日(金) エントリーシート提出締切り
- ・2025年12月5日(金) 応募締切り
- ・2025年1月中 一次審査結果通知
- ・2026年2月21日(土) 最終審査プレゼンテーション、表彰式

■応募方法

応募書類の提出

【受付期間：2025年10月14日(火)~12月5日(金)】

※2025年11月14日(金)までにエントリーシートの提出が必要です。

下記URLページ内『ビジネスプランコンテスト2025応募用紙』より各書式をダウンロードし、ビジネスプランの内容について記載頂き、郵送または持参により提出してください。

■お問い合わせ

一般財団法人 旭川産業創造プラザ 企業支援グループ

〒078-8801 旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター

TEL：0166-73-9210

FAX：0166-68-2828

E-mail：dbpc@arc-net.or.jp (旭川ビジネスプランコンテストお問い合わせ専用)

■詳細

<https://www.arc-net.or.jp/variousupport/dbpc/>

◇関係機関からのお知らせ◇

8. 令和7年林産試験場研究成果発表会 11月7日（金）13：30～14：30

林産試験場では、木材利用に関する研究成果の紹介などを通じて、幅広い分野の方々に木材利用に関する知識や技術を普及しています。

この度、研究成果を紹介する発表会を次のとおり開催しますのでお知らせします。

ポスター発表のみの開催となりますので、下記の時間内は自由にご参加いただけます。

開催日時

令和7年11月7日（金）13：30～14：30

開催場所

林産試験場講堂

開催内容

ポスター発表

令和7年5月15日（木）にかでる2.7で開催した、令和7年北海道森づくり研究成果発表会で林産試験場からポスター発表したものから20課題について、各研究職員（発表者又は代理人）が説明します。

詳細：<https://www.arc-net.or.jp/arc-net/data/r7rinsanhappyou.pdf>

その他

当日は、受付で名刺を提出していただければ、受付票への機関・企業名及び氏名等の記載の手間なく、参加できます。

お問い合わせ先

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場

企業支援部普及連携グループ

E-mail: rinsan-rpt@ml.hro.or.jp

TEL:0166-75-4237（内線：414） FAX:0166-75-3621

9 生産性向上セミナー 11月12日（水）13：30～16：30 札幌/オンライン開催

あらゆる業種において人手不足が常態化する中、生産性向上の取り組みで業務の効率化等を図ることにより、少しでも人手不足感を解消することが求められています。

本セミナーでは、生産性向上の実現に向けた改善の着眼点についてご講演いただくとともに、生産性向上に向けた取り組みを実践し、成果を挙げている事業者の事例を紹介します。

■開催日時

2025年11月12日（水） 13:30～16:30

■開催場所

ホテル札幌ガーデンパレス2F・丹頂（札幌市中央区北1条西6丁目）

■参加対象

中小・小規模事業者の経営者及び従業員並びに支援機関等の職員等

■定員

80名（会場及びオンライン（ZOOM））

■内 容

(1) 講演

「生産性向上の実現に向けた改善の着眼点」

（講師）トヨタ自動車北海道株式会社未来戦略企画部経営戦略室

モノづくりサポートGチーフエキスパート 花田 恭之 氏

(2) 事例紹介

1. 「製造現場への大型モニター導入による情報共有と生産性の向上」

（講師）株式会社佐藤製線所室蘭工場 庶務課係長 山崎 瞳 氏

2. 「アコーディオン幌シートシャーシ等の導入による鉄の物流現場における生産性向上の取り組み」

（講師）丸吉ロジ株式会社 代表取締役 吉谷 隆昭 氏

(3) 支援制度紹介

1. 独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部
2. 公益財団法人北海道中小企業総合支援センター

■主催
北海道

■参加申込み

下記アドレスに記載のフォームからお申込みください。

<https://www.hsc.or.jp/news/seminar/>

■問合せ先

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 経済センタービル9階
公益財団法人北海道中小企業総合支援センター
経営支援部経営支援G TEL: 011-232-2402 Mail: keieishien@hsc.or.jp

10. 北海道「食のブランドステップアップ相談会」を11月5日（水）開催します。

令和7年度「食のブランドステップアップ相談会 in 旭川」

と き：令和7年11月5日（水）13:00～17:00

と ころ：JA上川ビル 2階 大会議室（旭川市宮下通4丁目2番5号）

※駐車場は有料です。

対 象：道北地域（上川・留萌・宗谷）で食品製造業や農林畜水産業を営んでいる方

申込〆切：10月8日（水）

募集HP: <https://www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/130817.html>

参加予定の専門家

La Sante、キャセロール、北海道貿易物産振興会（北海道どさんこプラザ）、サンクゼール（旅する久世福e商店）、明治屋、東急ストア、高島屋、北海道中小企業総合支援センター・北海道よろず支援拠点

11. サービス業向け生産性向上ワークショップ 11月6日（木）13:30～16:00

テーマ 「生成AI活用による業務効率化」

あらゆる業種において人手不足が常態化する中、生産性向上の取り組みで業務の効率化等を図ることにより、少しでも人手不足感を解消することが

求められています。

本ワークショップでは、宿泊業及び飲食業をはじめとしたサービス業を営む皆様を対象に、現在手作業で行っている非効率的な業務の洗い出し等による課題の発見や、その課題の具体的な解決策の検討と実践の在り方等について学びます。

(1) 旭川会場

開催日時 2025年11月6日（木） 13:30～16:00

開催場所 旭川リサーチセンター・研修室（旭川市緑が丘東1条3丁目1-6）

カリキュラム

(1) 講義及びセルフワーク (1)

「IT導入・DX化に向けた既存業務の洗い出しによる課題の発見と共有」

（講師・ファシリテーター）

BLUESHEEP株式会社 代表取締役 杉本 英範

(2) 講義及びセルフワーク (2)

「具体的な解決策の検討と実践」

（講師・ファシリテーター）

同 上

(3) 情報提供

人材育成コーチング（専門家派遣）について

<お申込み>

下記HPよりお申込みください。

<https://www.hsc.or.jp/news/workshop03/>

12. ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（21次締切）

経済産業省では、ものづくり補助金の21次締切の公募を開始しました。
本補助金では、中小企業・小規模事業者等の生産性向上や持続的な賃上げに向けた新製品・新サービスの開発に必要な設備投資等を支援します。

■募集内容

【対象者】中小企業者、特定事業者の一部および一定要件を満たす特定非営利活動法人、社会福祉法人

【補助率】1／2または2／3

【補助上限額】

- ・製品・サービス高付加価値枠 750万円～2,500万円 ※従業員規模によって異なります
- ・グローバル枠 3,000万円 ※両枠ともに、大幅な賃上げを行う場合は上限額をさらに引き上げ

■公募期間

2025年7月25日（金）～10月24日（金）17：00

※電子申請受付は2025年10月3日（金）17：00～

■詳細については、公募要領等HPを参照ください。

<https://portal.monodukuri-hojo.jp/>

13. 小規模事業者持続化補助金＜一般型・通常枠＞

地域の雇用や産業を支える小規模事業者等の生産性向上と持続的発展を図ることを目的とし、持続的な経営に向けて自ら策定した経営計画に基づく販路開拓等の取組を支援します。

◆事業目的

小規模事業者等が経営計画を自ら策定し、商工会・商工会議所の支援を受けながら取り組む販路開拓等を支援

◆補助上限

50万円

◆補助率

2／3

◆第18回公募スケジュール

申請受付開始：2025年10月3日（金）

申請受付締切：2025年11月28日（金）※事業支援計画書の受付締切11月18日（金）

◆特例要件

インボイス特例：免税事業者のうちインボイス発行事業者の登録を受けた事業者

賃金引上げ特例：事業場内最低賃金を＋50円以上とした事業者

◆対象経費

機械装置費、広報費、ウェブサイト関連費、展示会出展費、旅費、新商品開発費、借料、委託・外注費

詳細は、下記ホームページを御覧ください。

商工会の管轄地域で事業を営まれている小規模事業者の方

URL：https://www.jizokukanb.com/jizokuka_r6h/

商工会議所の管轄地域で事業を営まれている小規模事業者の方

URL：<https://r6.jizokukahojokin.info/>

14. 小規模事業者持続化補助金（創業型）第2回締切 2025年11月28日

地域の雇用や産業を支える創業後3年以内の小規模事業者の生産性向上と持続的発展を図ることを目的とし、持続的な経営に向けた経営計画に基づ

く販路開拓等の取組を支援します。

◆事業目的

創業後3年以内の小規模事業者等が経営計画を自ら策定し、商工会・商工会議所の支援を受けながら取り組む販路開拓等を支援

◆補助上限

200万円（特例を活用した場合は最大250万円）

◆補助率 2／3

◆申請要件

産業競争力強化法に基づく「認定市区町村」または「認定市区町村」と連携した「認定連携創業支援等事業者」が実施した「特定創業支援等事業による支援」を受けた日および開業日（設立年月日）が公募締切時から起算して過去3か年の間であること。

◆特例要件

免税事業者のうちインボイス発行事業者の登録を受けた事業者は、一律に50万円の補助上限上乗せを行います。

◆対象経費

機械装置等費、広報費、ウェブサイト関連費、展示会等出展費、旅費、新商品開発費、資料購入費、借料、設備処分費、委託・外注費

◆2次公募の締め切りは2025年11月28日ですが、申請には商工会・商工会議所による「事業支援計画書（様式4）」の発行が必要となるため前広に事業計画書を作成ください。

◆詳細については下記HPを参照ください。

<https://r6.jizokukahojokin.info/sogyo/>

15. 中小企業省力化投資補助金（一般型）第4回公募 2025年11月27日（木）まで

個別の現場や事業内容等に合わせた設備導入・システム構築等の多様な省力化投資を支援

対象事業者 生産・業務プロセス、サービス提供方法の省力化を行うモノ

補助率 中小企業1500万円まで1/2, 1500万円を超える部分1/3※特例により変動あり。
小規模企業者等1500万円まで2/3, 1500万円超1/3

補助上限額 750万円～1億円（従業員数、特例等により変動あり。）

対象経費 機械装置・システム構築費、運搬費、技術導入費、知的財産権等関連経費、外注費、専門家経費、クラウドサービス利用費

詳しくは、当該補助金HPをご確認ください。

<https://shoryokuka.smrj.go.jp/ippan/>

16. 北海道中小企業総合支援センターの専門家派遣事業開始のご案内

1. 【専門家派遣による伴走型経営力強化支援事業開始について】

事業計画策定や販路開拓をはじめ様々な経営課題に対して専門家を派遣し、地域支援機関等と連携して課題解決に向けた伴走支援を行います。

●支援対象者

(1) 創業を予定する方

(2) 道内中小企業・小規模事業者

2. 【専門家派遣による事業承継促進支援事業開始について】

円滑な事業承継を促進するため、専門家を派遣し、地域支援機関等と連携して課題解決に向けた

伴走支援を行います。

●支援対象者

- (1)事業承継を計画している中小企業・小規模事業者
- (2)事業承継を今後進めたいと考えている中小企業・小規模事業者

3. 【1、2の共通事項】

●派遣内容

相談者と協議の上、それぞれの課題に応じた専門家を選定・派遣します。
(センター登録専門家より選定させていただきます)

【派遣専門家の例】

中小企業診断士、公認会計士、税理士、社会保険労務士、行政書士、ITコーディネータ、技術士、衛生管理や品質管理の指導員、フードマイスターなど

●専門家派遣回数(目安)

1社あたり2回程度

●派遣費用

無料

●申し込み方法

下記ホームページ掲載の「相談申込書」にご記入の上、メール、FAX等でご提出ください。

(WEBフォームによるオンライン申し込みも受付しております。)

●ホームページ https://www.hsc.or.jp/news/senmonkahaken_2025/

■問合せ先

〒060-0001

札幌市中央区北1条西2丁目 経済センタービル9階

公益財団法人 北海道中小企業総合支援センター

経営支援部経営支援G TEL 011-232-2402

17. 事業承継M&A補助金 13次 2025年11月28日(金)まで

事業承継・M&A補助金は、事業承継を契機として新しい取り組み等を行う中小企業等及び、事業再編、事業統合に伴う経営資源の引継ぎを行う中小企業等を支援する制度です。

今回の13次公募も事業承継推進枠、専門家活用枠、廃業・再チャレンジ枠、PMI推進枠の4枠全ての募集があります。

(1) 事業承継推進枠

親族内承継や従業員承継等の事業承継を契機として経営や事業を引き継ぐ予定である中小企業者及び個人事業主が、引き継ぐ予定である経営資源を活用するための設備投資等に係る取り組みを行う際の費用の一部を補助することで、中小企業者等の生産性を向上させることを目的とした枠

補助上限額 100万円～1000万円(賃上げや廃業などの要件を満たすことで変動、上乘せあり)

補助率 1/2～2/3

補助事業実施期間 決定日から14か月以内(ただし採択発表日から16か月以内)

公募申請期日から5年後までの事業承継対象期間内に事業承継を完了する必要があります。

補助対象経費

設備費、外注費、産業財産権等関連経費、謝金、委託費、旅費

(廃業費併用申請した場合) 廃業支援費、現状回復費、在庫処分費、リース解約費、解体費、移転・移設費

(2) 専門家活用枠

後継者不在や経営力強化を背景とした事業再編・事業統合等の経営資源引継ぎ(M&A)のニーズをもつ中小企業者及び個人事業主が、経営資源の引継ぎに際して活用する専門家の費用等の一部を補助することによ

て、地域の需要や雇用の維持・創造等を通じた経済の活性化を図ることを目的とした枠

補助上限額 600万円（上乗せ、100億円企業特例あり）

補助率 1/2～2/3

対象経費 旅費、謝金、外注費、委託費（仲介・FA費用、デュー・ディリジェンスに係る費用など）、システム利用料、保険料、廃業費

（３）廃業・再チャレンジ枠

M&Aによって事業を譲り渡せなかった中小企業者等の株主や個人事業主が、地域の新たな需要の創造や雇用の創出にも資する新たなチャレンジをするために、既存事業を廃業する場合にかかる経費の一部を補助する枠

補助上限額 150万円

補助率 1/2又は2/3

補助事業期間内に既存法人（事業）の廃業を完了した上で、再チャレンジすることが条件です
対象経費：廃業支援費、現状回復費、在庫処分費、リース解約費、解体費、移転・移設費

（４）PMI推進枠

経営資源の引継ぎ(M&A)を行った又は行う予定の中小企業者及び個人事業主が、事業再編・事業統合等の取り組み(以下、「PMI」という。)に際して活用する専門家の費用及び統合に伴う設備投資費用等の一部を補助することによって、中小企業者等の事業再編・統合後の生産性向上を通じた経済の活性化を図ることを目的とした枠

専門家活用類型 委託費、謝金、外注費、旅費 上限150万円（廃業上乗せあり）補助率1/2

事業統合投資類型 委託費、設備費、外注費 上限800万円～1000万円（廃業上乗せあり）補助率1/2、2/3

詳しくは補助金HPをご確認ください。

<https://jsh.go.jp/>

18. AI利活用セミナー 11月8日（土）14：00～16：00

AIをはじめとするデジタル技術の普及は、道民生活の利便性向上や、道内産業の省力化・生産性向上など、多方面で大きな効果をもたらすことが期待されます。

そのため、北海道では、AIなどのデジタル技術を活用して人手不足をはじめとする様々な地域課題の解決を図るため、AI活用の推進に向けた取組を積極的に進めています。

本セミナーでは、地域でのAI活用の意義やAIの基礎知識などに関する講演のほか、道内の多様な実証フィールドを活用してAI導入に取り組む地域の先進的な取組を紹介します。

■開催日時

令和7年11月8日（土） 14時00分～16時00分

■会場

札幌グランドホテル 別館2階グランドホール

内容

第1部（14時00分～）

■基調講演1

テーマ：（仮）地域でのAI活用の意義とポイントについて

講師：経済産業省 情報技術利用推進課長 兼 AI産業戦略室長 渡辺 琢也 氏

■基調講演2

テーマ：（仮）AIの基礎知識と社会への影響について

講師：北海道大学大学院 情報科学研究院 教授 川村 秀憲 氏

■基調講演3

テーマ：（仮）東大発スタートアップの取組と北海道の魅力
講師：東京大学 スタートアップ推進部長 野澤 泰志 氏

※テーマや内容が一部変更になる可能性があります。

第2部（15時00分～）

■パネルディスカッション

AIの活用効果を普及するための先行モデルや、北海道というフィールドへの期待について、道内で実証事業に取り組む企業や、省庁・自治体担当者が意見交換

■申込方法

下記URLよりお申し込みください。

<https://www.harpp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=UHs9XcXj>

■詳細はこちら

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/dxs/237477.html>

■お問い合わせ

経済部 AI・DX推進局 DX推進課
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL：011-204-5170
FAX：011-232-3962

19.11/6開催！輸出をもっと身近に！東・東南アジア輸出セミナー開催

各国の動向・決まり事、小ロットからスタートできるECやセレクトショップでの販売といったサービスを知り、輸出に関する不安を解消し、輸出を始める機会を提供することを目的として旭川地場産業振興センターが主催する輸出入門向けのセミナーのご案内です。

(1) 日 時 令和7年11月6日（木） 15時00分～16時30分

(2) 場 所 旭川地場産業振興センター2階研究開発室

(3) 日 程

15:05～15:50 第一部 輸出市場としての台湾・香港・ベトナムの動向と支援策について

15:50～16:20 第二部 シンガポールの今がわかる！～道北の味を世界へ届ける最初の30分～

16:30～17:00 名刺交換・個別相談

(4) 講 師

・独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）北海道貿易情報センター 国内コーディネーター 木戸潤一郎氏（第一部）

・株式会社WeAgri 執行役員 矢部翔一氏（第二部）

(5) 対 象 道北地域の食関連事業者、金融機関、支援機関等

(6) 定 員 30名

(7) 料 金 無料

(8) 申込方法 下記URLまたは添付ファイルに記載のQRコードにてお申込ください。電話申込も受け付けております。

URL：<https://forms.gle/s4HjGd3HtrWzx1Gy8>

(9) 申込締切 令和7年10月31日（金）まで

◆詳細につきましては旭川地場産業振興センターHPをご参照下さい。

<https://www.asahikawa-jibasan.com/>

◆お問合せ先

道北地域旭川地場産業振興センター 白木氏・松山氏
〒070-8004 北海道旭川市神楽4条6丁目1番12号
TEL. 0166-61-2283 FAX. 0166-62-1903
メール y.shiraki@asahikawa-jibasan.com

※これまでいただきましたお名刺や、セミナーへの出席申し込みなどにより
いただきましたE-Mailアドレスをもとにお送りしています。

#. メールマガジン配信先変更・購読中止について

●お届けするE-Mailアドレスの変更や購読解除は次のところから行ってください。

<https://www.arc-net.or.jp/mailmagazine/>

★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★

一般財団法人 旭川産業創造プラザ

〒078-8801 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号

旭川リサーチパーク内

Tel:0166-68-2820 Fax:0166-68-2828

H P:<https://www.arc-net.or.jp/>

E-mail:arc-net@arc-net.or.jp

★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★